

よこぶえきょうしつ
横笛教室



横笛の四から一の音を練習しました。四の音はどの穴を押さえるのか、ノートに書いて勉強しました。音が増えて吹ける曲も増えましたが、難しさも倍増！

リコーダーとは違い指の押さえる数が違うので、間違えないようにしないとイケないね。“春の小川”を練習する宿題ができました。次回、みんなで合奏できる日が楽しみです。



木彩会の服部茂治先生がお正月に飾る新年のあいさつを書いて下さり玄關を彩ってくれました。



さどう
茶道くらぶ



かきぞめ

ふくさの作法はお手の物になってきました。お点前の練習では、お茶を点てるだけでなく、点てる前にも準備があり、茶杓の持ち方、棗の蓋の開け方から抹茶のすくい方などがあります。順序や作法を何度も練習し、覚えていく子どもたちに頭脳の若さを感じる今日この頃でした。3月に今年度、最後のお稽古があります。



講師は地区センター長。手取り足取り細かいところまでを教えていただいてコツを掴んでいました。数日後に学校で本番をむかえるとのこと。教えてもらったことを本番で全部出しきれるといいですね。



令和4年1月31日
発行：土田地区センター

さぎちよう
左義長（どんど祭）

1月15日(土)白鬚神社にて左義長（どんど祭）が朝8時から開催されました。今年は雪がうっすら積もっていて寒い日でしたが、空気が凜として気持ちのいいどんど祭となりました。

どんど焼きとは、神社やお寺の火祭りのことです。

各家庭の正月飾りやお守りなどを焼いてもらうことができます。

書き初めを燃やした時、炎が高く上がれば字が上手になるといういわれがあります。



1月吉日、スタンプラリーの抽選会を行いました。地区センター長、連絡所長、土田自治会連合副会長が見守るなか、横笛教室の生徒たちにくじを引いてもらいました。

寒い日が続く中、たくさんの方々にご参加いただき、ありがとうございました。

